



監修

夏秋 優 兵庫医科大学医学部皮膚科学 教授

答え① 縁側後ろの網戸：【誤】開けっ放し 【正】閉めてある

虫(蚊)が家の中に入るのを防ぐため、網戸を閉めておきましょう。ただし、網戸を閉めていても蚊が侵入してしまいます。蚊は体長が約4.5~5.5mmとかなり小さく、網戸と窓のすき間や網目がよれて粗い部分、破れた箇所から侵入してきます。窓サッシ(戸車など)のお掃除とあわせて定期的に網戸をチェックするとよいですね。

答え② (室内) 蚊取り線香：【誤】なし 【正】あり

蚊を寄せ付けないために防虫グッズ(蚊取り線香や蚊取りエアゾールなど)を使用し、室内の蚊を退治しておくのも有効です。設置場所、持続時間、適応害虫、成分、香りなど、さまざまな種類がありますので、使うシーンによって選びましょう。室内で使用する場合には、香りや煙の少ないものを選び、小さいお子さんがいる場合には、手の届かない場所に置か、電池式など火を使わないタイプを使用するとよいですね。

答え③ タカちゃんママの服装：【誤】黒い服装 【正】白い服装

蚊は人が吐き出す二酸化炭素や体温を感知して集まってきます。体温の高いお子さんや赤ちゃん、飲酒をしている人などが刺されやすいのはそのためです。そのほか、汗や足の臭い、服装の色でも蚊をひき付けてしまうことがあるようです。蚊は色みではなく色の明るさで識別しており、暗い色(黒、濃い赤や青)に集まりやすくなります。蚊が多い場所へ出かけるときは白や淡い色の服を着用するとよいですね。

答え④ 蚊：【誤】あり 【正】なし

蚊に刺されて起こるかゆみや腫れは、蚊が刺す時に注入する物質に対するアレルギー反応です。子どもは大人に比べて反応が強く現れることが多く、しこりを伴って赤く大きく腫れたり、水ぶくれができたりすることもあります。蚊に刺されたとき、まずは刺された箇所を水で洗い流し、かゆみが強いときは、保冷剤などで冷やすことである程度かゆみが抑えられます。かゆいからと汚れた手でかき壊してしまうと、とびひになることもありますので、症状がおさまらないときは皮膚科を受診しましょう。

答え⑤ 植木鉢の受け皿：【誤】あり 【正】なし

蚊は水たまりから発生します。外に放置されたジョウロやバケツ、植木鉢の受け皿や空き缶、空き瓶、ペットボトル等の容器、雨よけシートのくぼみなど、身の回りにあるほんの小さな水たまりにも産卵して繁殖します。日頃から、水がたまる場所をつくらないように心がけましょう。

